



# ～ 自分の歯でいつまでも 食べられるように ～

社会福祉法人山鳩会 なごみの里 生活介護

東村山市



## 【施設紹介】

社会福祉法人山鳩会 なごみの里生活介護は、東村山市にある、重度の知的ハンディを持つ人の通所施設です。平成4年に重度の知的障害を持つ人の訓練施設として「東村山手をつなぐ親の会 通所訓練施設第三山鳩の家」を開所しました。平成19年に運営を親の会より社会福祉法人山鳩会に移管、平成21年には障害者自立支援法に基づき「なごみの里」と名称変更し、平成27年4月多機能型から単独の生活介護事業所「なごみの里生活介護」と名称変更をし開所しました。

地域で豊かに生きていくために、日常生活動作向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていくこと、工賃を得られる生活介護としていくことをコンセプトにしています。現在、21名の利用者が、健康維持、体力向上のためウォーキングを行うとともに、手や指先の機能維持のため刺繍や紙すきなどの創作活動、資源回



収などを行っています。また、宿泊旅行やプールなどの行事を行うことで普段とは違う体験の提供もしています。

障害の有無に関わらず歯や口は健康の入り口であり、食べることは大切です。“重度の知的ハンディを持つ生活介護の方たちも口腔ケアに取り組める”という事で、『いつまでも自分の歯で好きなものが食べられるように』を目指し、実際に取り組んでいることなどを報告させていただきます。

## 【取組内容】

### ★歯科検診

重度の利用者は自分から痛み等が訴えられないため、早期発見・早期治療が大切と考え、年1回歯科検診を実施し、歯科通院に繋がるように家庭と連携を取っています。法人内には事業所が5か所あり、その検診すべてを歯科医師である理事長が担っています。



昨年より、検診前に歯の健康について利用者に分り易くまとめたスライドを見て意識を高めています。「お口の健康手帳」を活用しデータの蓄積をして家庭との情報を共有しています。その結果、15名の利用者がかかりつけ歯科医を持っていて、定期通院している利用者も12名います。